



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日  
チャーター認証日 1989年5月 2日  
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE  
2-18-12,NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO  
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00  
(但し、12月・5月は山中湖センターで土日)  
第二例会：翌週土曜日 午後4：00

## 2015年7月号ブリテン 第302号

### 2015-2016年度主題 (Theme)

会長 大谷博愛  
副会長 小山憲彦  
書記 菰淵光彦  
会計 柴田弘子  
直前会長 長津徹  
担当主事 岡田ナスカ

Our Motto 国際標語  
国際会長 Widhian Boonmapajorn  
アジア会長 Edward K. W. Ong  
東日本区理事 渡辺 隆  
あずさ部部長 標 克明  
サンライズ会長 大谷博愛

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right  
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う  
「信念あるミッション」 "Mission with Faith"  
「愛をもって奉仕しよう」 "Through Love, Service"  
「原点に立って、未来へステップ」 (甲府クラブ)  
「ワイズメンとして一歩前進」 (甲府クラブ)  
「若い世代と経験と活力の交換」

### 7月第一例会・総会のお知らせ

と き 7月9日(木曜日) 19:00~  
と ころ 東京YMCA山手センター  
か い ひ 500円  
とうばん (巻組)小山(久)、内迫、小野田、菰淵、柴谷、深田(晶)

#### ◆プログラム

|                            |        |
|----------------------------|--------|
| 開会点鐘                       | 会 長    |
| ゲスト・ビジターの紹介                | 会 長    |
| 卓話 「緩和ケアとアドバンス・ライフ・プランニング」 |        |
| 東京医大緩和医療部部長・臨床教授 田上 正さん    |        |
| テイस्टینگ・タイム               | 一 同    |
| ハッピーバースデー                  | 会 長    |
| 報告・連絡事項                    | 会長・各担当 |
| にこにこ・一分間スピーチ               | 出席者全員  |
| 閉会点鐘                       | 会 長    |

本音で語ろう会 例会の続きを“本気”で“本音”で  
伊丹亭 21:15~

#### 7月以降の予告

|                        |        |        |
|------------------------|--------|--------|
| 7月18日(土) あずさ部評議会       | 目白聖公会  | 12:30~ |
| 7月25日(土) 第二例会          | 山手センター | 16:00~ |
| 8月 2日(日) 台北ユニオン歓迎会(京都) |        | 12:00~ |
| 8月 8日(土) 第一(納涼)例会      | セレクトマト | 17:00~ |
| 8月22日(土) 第二例会(予定)      | 山手センター | 16:00~ |
| 9月10日(木) 第一例会          | 山手センター | 19:00~ |

### 会長就任にあたって

大谷博愛



長津徹前会長の後を引き継ぎ、私がサンライズの今年度会長を務めることになりました。

今年度の目標は、「若い世代との経験と活力の交換」とさせていただきます。これは今年度の事業計画の中に盛り込まれておりますリーダー講習の報告会と、恒例となった山手学舎での例会を念頭においたもので、これらの事業を実質的なものにしていきたいと考えたからです。

リーダーの報告会も一方的に報告を聞くだけではなく我々の側もアドバイスを提供するなど主体的に参加し、山手学舎例会では若い世代との意見交換をしながらの食事を楽しむといった形のものにしたいと思っています。こうしたシニア世代の経験と若い世代の活力を交換するという世代を超えた交流をわれわれサンライズだけでなく、周りに広げたイベントにして行ければ幸いです。

これまで私は仕事の関係でクラブの諸行事に参加できないことが多々あり、運営について知らないことだらけです。クラブ・メンバー各位のご指導とご協力なしに会長職を全うすることはできません。さらに、クラブ外の知り合いはほとんどおりませんので、私自身ワイズの世界では全く目立たない存在ですが、これまで築いてきたサンライズの位置づけを失わないように努力するつもりですから、皆さんの応援よろしく願いいたします。

### 7月のハッピーバースデー

12日 柴田 公さん  
19日 大谷博愛さん  
27日 中馬敏雄さん

### ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう  
青少年のためにYMCAに尽くそう  
世界的視野を持って国際親善を計ろう  
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう  
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

### 6月例会出席者

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 在籍              | 20名 |
| メン (Make up 1名) | 13名 |
| メネット・コメット       | 1名  |
| ゲスト・ビジター        | 2名  |
| 出席率             | 65% |

## 会長任期を終えて

長津 徹

私にとって2度目となる会長職が6月末で無事終わることができ、ほっとしているところです。新入会員を迎えての昨年7月から一年間、区大会を始めインド世界大会、台湾IBC訪問、DBC交流、モンゴルUBワイズメンズクラブチャーター参加と楽しいことばかり記憶に残っていますが、会長として至らないところもいろいろあったと思います。クラブのキャビネットを始め会員の皆様のご協力で、充実した例会がもたれ、クラブ運営ができたと思います。この場を借りてお礼申し上げます。新年度もみんなで会長を支えて充実したクラブにしていきたいと思います。

## 6月第一例会報告

小山憲彦

東京サンライズ6月第一(総会)例会は6月11日(木)開催された。開会点鐘、ワイズソング斉唱、ワイズの信条の唱和、ビジターの紹介が行われ、長津会長議長のもとで以下の審議がなされた。

### 1. 15-16年度クラブ役員人事

書記を予定していた方は都合で無理とのことで、協議の結果菰淵さんに決定。一覧表は5ページに掲載。

### 2. 8月例会の件

当初予定の8月13日(木)は、山手センター休館のため協議の結果、8月8日(土)17時より、例年通り後楽園のセレブ・デ・トマトにて開催することとなった。

### 3. 山手センター3クラブ合同例会の件

浅羽東京山手会長とも協議の結果、11月開催の方向で東京たんぼぼに提案し、検討することになった。

### 4. 例会卓話者の選定

7月例会は田上 正氏(東京医大緩和医療部部長・臨床教授/熊本むさし)に長津会長より依頼する。8月例会は納涼例会のため卓話はなしとする。9月例会以降は既に上がっている候補者を中心に大谷次期会長が各推薦者と相談しながら選定を進める。

### 5. 例会とユース

2月の学舎「鍋」例会以外に、ユースを招いて話をしてもらったり、話し合う例会を持つことにする。

### 6. 山手バザーの件

今年はあずさ部部会と日程が重なるためバザーに参加できない。その代わりとして、東陽町夏祭りに出店を検討したいとの提案があり協議したが結論が出ず、客として自由参加することになった。

その後、雑談形式で、①新年度のDBC3クラブ合同例会(サンライズ担当)の場所・日程等の協議、②山手学舎支援の件、③各行事への参加の確認、④新しいCS活動の模索、⑤ファン作りの方の検討、⑥ユースとのかかわり、⑦アジア大会での台北ユニオンのアテンドに関して、等々が話し合われた。

ワインのテイastingを行いながら、時間に余裕があったため長めのニコニコとなったが、時間前の閉会点鐘となった。

例会終了後、いつもの伊丹亭でいつもの通り、終電近くまで歓談し、あわてて散会した。

出席者:長津会長、大谷、小山(憲)、小山(久)、菰淵、柴田、島田、立田、御園生、岡田担当主事、浅羽さん御夫妻(東京山手)

## 6月お散歩例会報告

正村満さん(参遊會)

今回は、上板橋から中板橋まで散策しました。

12時に東武東上線板橋駅に集合、天気よし。全員揃ったところで北口にある蕎麦屋を捜す。駅から3~4分の処にあった長寿庵に入る。どこの街にもあるごく普通の蕎麦屋さん、味も普通。ここで菰淵さんが追いつく。

腹を満たし、昭和の町の雰囲気の色濃く残した上板南口銀座商店街をブラブラと素見し、川越街道を渡り都立城北中央公園へ。グラウンドでは上半身裸のおっさん達があちこち走り回っていた。管理事務所の前で一休みして公園の林の中を歩く。気持ちいい。少し行くと石神井川に。鴨が一羽流れに添って泳いでいた。この近辺には高層マンションとかオフィスビルとか高い建物がなく、空が開けて気分がいい。



【とてつもなくでっかい都立城北中央公園の中を歩く】

上板橋村役場跡から安養院という寺院へ。境内も広く本堂も立派でした。しばらく行くと氷川神社に。この神社の拝殿の鈴は、大きな鈴ではなく、巫女さんが舞う時に手に持っている鈴の形をしていました。初めて見ました。

民家の中を抜けてときわ台駅に到着。パーミヤンに入り休憩。ビールを飲む。旨い。小一時間して再出発。環七を通過し旧川越街道を歩く。石神井川に架かる下頭橋(げとうばし)と言う変わった名前の橋を渡り、上板橋宿を歩いていると一軒の古い民家が左側に。この家が説教強盗の逮捕のきっかけとなった米屋だと、この先にあった豊敬(とよけ)稲荷神社境内の案内板に記してあった。響(くつわ)神社と謂う小さな神社を見て中板橋駅に到着。今日の散歩はここまで。

この後、池袋のカフェ&バー「ボルカドッツ」で会長ご苦労さん会を行ないました。ビールも料理も美味しく頂きました。

長津さんお疲れ様でした。

参加者:大谷、小山(憲)、小山(久)、菰淵、柴田、長津(徹)、長津(絹)、正村(参遊會)

会長ご苦労さん会からの参加者:江原、菅原

## 第18回東日本区大会

小山久恵

6月6日(土)12時45分から、厚木市文化会館大ホールにおいて、白龍太鼓のオープニングセレモニーから始まりました。

各部長、各会長によるバナーセレモニーの後、開会式では田中理事の開会宣言、点鐘、聖書朗読、開会祈祷、ワイズソング斉唱、石井大会実行委員長挨拶、島田YMCA総主事、松本西日本区理事、厚木市長の祝辞がありました。続く東日本区アワーでは、理事年次報告、年次代議員会報告、事業主任・部長・メネット委員長の報告がなされました。例年、この部分は、時間が押せ押せになって、なんだかせかせかした感じがするのですが、今年はゆったりとした印象を受けました。報告もとても分かりやすいものでした。今大会は厚木市が共催だったため、厚木のウリである、鮎とシロコロ・ホルモンを模ったあゆコロちゃんと共にあゆコロ体操をして、ロボットのチカラのお話を聞きました。分科会はサボって、19時から会場をレンブラントホテルに移し、晩餐会が開かれました。堀田厚木クラブ会長の歓迎挨拶、岡野アジア地域会長の挨拶、食前感謝、渡辺次期理事の乾杯でお食事となりました。厚木市職員の方3名と同じテーブルで、厚木ネタと市職ネタで盛り上がりました。お料理も着席で、ワイズの首都圏開催のイベントの食事としては珍しく食べきれないほどでした。

フェローシップをパスして、関東東部の人々の集まりに加わり、他の部のメンバーとの交流を深めました。

翌6月7日(日)、早朝ウォーキングと聖日礼拝は失礼して、東日本区アワーⅡから参加しました。表彰式では、今年はサンライズが登壇することはありませんでしたが、プルリング収集第2位と、すべての献金達成賞を獲得しました。松田さんの司会、青木さんの司式で理事引継式と役員引継式、渡辺次期理事の所信表明と次期役員紹介でプログラムは終わり、閉会式となりました。献金贈呈、堀田厚木クラブ会長の挨拶、厚木クラブから長野クラブへの大会旗引継、YMCAの歌、そして田中理事による閉会点鐘で幕を閉じました。

今回はサンライズからは長津会長と島田さん、私達2人のみ。長津さんも初日の晩餐会前にいなくなって、ずっと一人ぼっこの行動でした。

## 東京八王子クラブ6月第一例会

長津絹子

6月13日の土曜日、6時からの例会に充分間に合うよう早めには水戸さんと待ち合わせ、新宿に向かいました。京王線のホームに行くと、びっくりです。ものすごい人がこれから発車しようとしている急行にもホームにもあふれんばかりなのです。“な、なんだ一体これは、事故でもあったのか？”と心配になりました。結局、予定の電車に乗れず、大幅遅れの次の便にキューキュー詰り状態で無理やり乗り込みました。が、急行にもかかわらず、ノロノロ運転でこれでは到底6時までには間に合わないのではないかと、またまた心配になりました。一体、この混雑の原因は何だろうと水戸さんと話していると、突然急行にもかかわらず飛田給という小さな駅で臨時停車し、私たち数人を残して殆どの乗客が降りていきます。ますます訳がわからずキョロキョロしていると一人の女性が教えてくれました。「今日はB'zのライブがあるのです」はあ？そうか！！味の素スタジアムにB'zのファンが集まる場所だったことがわかり、水戸さんと感心しつつ謎が解けてスッキリしました。そして北野駅にようやく到着したのですが、例会の会場がわからず交番のおまわりさんに聞いたり、小山さんに電話で聞いたりしていたので、結局

遅刻してしまいました。ところでコアマこと森本さんの卓話「新渡戸稲造と台湾」を伺い、明治の日本にはなんと立派な見識をもった人物がいたのかと感銘を受け、改めて稲造の写真をじっくり眺めました。興味深いお話を伺い、活気に満ちた八王子例会に出席することができ、本当に良い時間を過ごさせて頂きました。ちなみに心配していた帰りの電車はガラガラでした。

## モンゴル旅行記

長津 徹

6月24日から4泊5日でモンゴルのウランバートル(UB)へ行ってきました。

宮内さん(東京武蔵野多摩)の旗振り、去年チャーターしたばかりのUBクラブとUB-YMCA支援も兼ねたツアーで、仙台青葉城クラブメンバー加藤さんの会社ワールドトラベル社のツアーです。特別に社員のモンゴル人ダライさんに成田から添乗していただくことになりました。しかも現地にてたまたまお仕事で里帰りされていた、奥さんのツェドゥさんも終始同行して様々なお世話をしていただきました。成田発の参加者は11名、サンライズからは小山家と長津家の4名に、現地のみ小山コメントの祐典君と新婚ほやほやの新婦麻由実さんが合流し合計15名の団体旅行となりました。

MIATモンゴル航空UB行き502便は14時40分発なのですが、集合時間に間に合うには池袋発8時のバスしかありません。次のバスは10時なのです。しかも高速がガラスキで30分以上早く到着、時間をもてあましてしまいました。カード系のラウンジが使えたので、一杯やりながら話をしていると突然目の前の席にいた女性が話しかけてきました。「どうしてここにいるの？」地元西池袋で知り合いの奥さんでした。沖縄在住なので成田に前泊したとのこと。偶然は怖いもので同じ便でUBに行き、テレルジのツーリストキャンプ(ゲルキャンプ)で乗馬目的のツアーだそうです。僕らも3日目に行く予定の場所です。

飛行機はほぼ定刻通り5時間半の飛行で無事UBはチンギスハーン国際空港に到着しました。通常の時差は1時間なのですが、現地はサマータイム中で日本時間と同じ、つまり時差0という便利さ。市内のホテルにチェックイン後、イタリアン？レストランへ。ホーショルという揚げ餃子のようなミートパイをいただきました。

2日目は朝食とチェックアウトを済ませ8時半出発。チャーターバスで銀行に、両替をした後YMCAのキャンプ場へ向かいます。途中終戦後抑留され、強制労働に従事した日本兵の収容所跡へ。2年間の抑留中に12,000人中1,500人が亡くなったとのこと。遺骨の帰還事業の展示や忠霊碑などを見学した。この日本兵のおかげで市内の国会議事堂を始め様々な建築、インフラが整備されウランバートルが近代的な都市となったとのこと。お昼過ぎにアルグンテという所にあるYMCAキャンプ場に着。UBからは直線距離20キロ、行程で28キロの場所なのですが、半分以上が未舗装のたがた道路で、平均30キロも出せないのと、揺れがひどくて体にこたえるドライブでした。キャンプ場は我々が最初の利用者ということもあり、新しい宿泊用ゲルが4つとスタッフ用ゲルが1つ、仮設のトイレと食事用のテントがあるだけ。土地の境界などはないので、山羊や牛馬、野犬などが出入り自由という、良く言えば開放感満点。電気もないので、夜の星空が楽しみです。



【UB日本兵収容所跡】

BBQの昼食後、地域の住民が集まって国民のお祭りナーダムを模したミニナーダムを開いてくれました。三々五々100名ほどの見物人が集まり最初に競馬です。20頭ほどの裸馬あり、鞍を付けた馬あり、大人子供入り交じっての草レースをゴール地点で見守りました。次にキャンプ場に戻ってモンゴル相撲。16人の選手によるトーナメントで、引退した選手や学生がダイナミックな取り組みを見せてくれました。結局40歳くらいの引退した人が優勝し、技の深さを感じることができました。弓競技もあり、それぞれの入賞者に賞状やメダル、我々からもおみやげに用意したものを、副賞に付けて表彰式が行われました。その後UBクラブとの交流会、キャンプ場の開所式なのですが、メンバーが集まったのは夜8時。とは言っても太陽はまだ沈んでいません。風通しの良いところで昼寝して待ちました。

UBクラブのメンバーは10名程度で、型どおりのメンバー紹介、スピーチ、プレゼント交換等があり、用意されたはさみでテーブルカットが行われました。夕食は牛糞で焼いた石を使って、蒸し焼きにした羊を豪快に丸がじりします。岩塩のみの味付けなのに美味しいことと言ったら！夜も更けてUBのメンバーも帰宅しキャンプ場の初日が終わりました。深夜の星空はすばらしかったそうです。



【YMCAキャンプ場開場式記念写真。】

3日目は一旦UBに戻って国立公園テレルジを目指します。途中チンギスハーン像や13世紀村(江戸村みたいなもの)に立ち寄ったので、6時間近く悪路に揺られてくたくた状態で到着、すぐに乗馬希望者は集まります。一時間のピクニックを楽しみました。このゲルキャンプはレストランもしっかりしていて冷たい



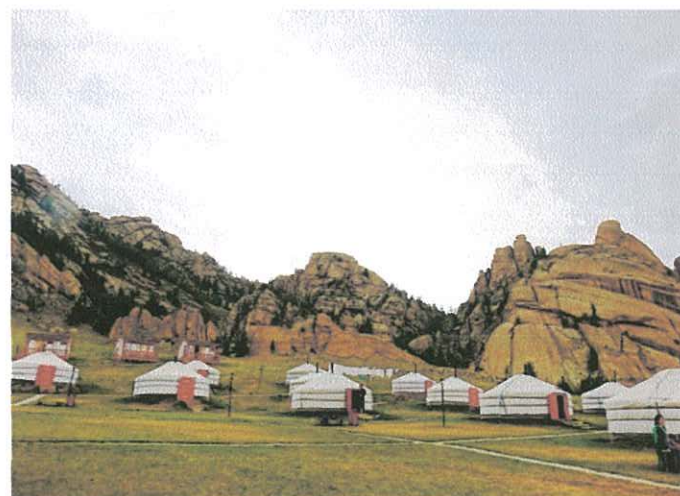
【何も無い丘の上のジンギスカンの巨像】



【馬の首の上の展望台で顔をバックに記念撮影】



【今回の目的の一つである「乗馬」を楽しみました。翌日はお尻が...】



【「ゲル・キャンプ」約60の宿泊ゲルと約20の宿泊キャビンに業務用のゲルと本館等がある】

ビールがあり、シャワー(これも冷たい!)、水洗トイレで虫もない立派なものでした。

4日目はUBに戻り、YMCAを訪問後市内観光へ。国会議事堂やチンギスハーン博物館、宮殿などを見学しデパートで買い物。夜は劇場で民族舞踊や歌を鑑賞しホテルにチェックイン。「モダンノマド」というレストランで夕食を摂りました。

5日目は8時55分発の飛行機なので、朝食もそこそこに6時半にチェックアウトして空港へ。何のアナウンスもなく出発が1時間ほど遅れたものの、全く問題なく成田に到着し解散となりました。参加者の皆さんはお疲れ様でした。成田から仙台、盛岡に帰るのも大変だったと思います。



## 西条便り

今月は休載します

## 今月の京都プリンスクラブ Vol. 51

京都プリンスクラブ 岡西博司さん

6月20日(土)我がクラブとウェルクラブの合同で引継ぎ例会を開催いたしました。

今期の一年間を振り返ってみたく、毎年スライドの上映をします。みんなでそれを見ながら、声を上げて笑い合います。

今年は飯尾会長を泣かそうと企て、お嬢さんからビデオレターを送って頂きました。ちょっとは、泣いてくれたかな？

今期は我がクラブ若手のホープである蒔田会長がどんなリーダーシップを発揮してくれるか楽しみでいっぱいです。

## 強調月間：YMCAサービス/ASF/RBM

## 地域奉仕・ファンド委員会

YMCAサービスとは、YMCAへの直接の奉仕を立案し実行することです。YMCAへの奉仕、支援はワイズメンズクラブの最も重要な目的です。

米国のYMCAの中に生まれ、YMCAのサービスクラブであるワイズメンズクラブにとってYMCAサービスは、最も歴史のある事業です。

サンライズは山手センターへの直接的奉仕が十分とはいえませんが、YMCAへの協力では、山中ワークと山中クリスマス支援の継続、山中湖センターの会員になる。山手バザーへの奉仕。山手学舎との交流の拡充、学舎の後援会に入っ、学舎を経済的な面から支援する。等々が考えられます。ASF (Alexander Scholarship Fund) とは、ワイズメンズクラブ創始者P. W. アレキサンダーを記念して設置された将来YMCAに奉仕しようとする青年のための奨学基金。現在東日本区ではASF献金を、YMCAの主事研修であるステップⅡへ参加する、財政基盤の弱い地方のYMCAへの参加費の支援を行っています。

RBM (Roll Back Malaria) とは、2005-2006年度から始まった、世界中のワイズが一つの目標に5年間統一して取り組むというUGP(Unified Gloval Project)活動は、最初の5年間はSTOP! HIV/AIDS に取り組みました。そして現在では、2010-2011年度から始まった(5年間経過し、さらに3年間の延長が決まった)、国連と協働のマラリア撲滅運動「ロールバック・マラリア(Roll Back Malaria Partnership)」を展開しています。これはマラリアに苦しむアフリカの子供たちを救うために、防虫剤の塗布された蚊帳を贈る運動です。一人/一張り(800円)寄付しようという運動です。皆さまのご協力をお願い致します。

## 編集後記

相変わらずワイズの活動には厳しい所があります。55歳定年で悠々自適は夢のまた夢。定年は延長、再就職で働きづめ。現役世代も仕事に追われ、ワイズライフを楽しむなんて... (Non.O)

## 山中湖センターだより

山中湖センター 天野愛巳さん

皆様こんにちは、山中湖センターの天野です。

富士山も雪がとけ、緑も増えてきました。

山中湖センターではリーダートレーニングや学校のキャンプが多くなりました。トレーニングでは様々なキャンプに向けてのボート・グランドアクティビティ・ハイキング・火おこしなど取り組む姿が見受けられます。

これから夏をむかえるにあたり、安全で楽しいキャンプが無事行えるよう、スタッフ一同心がけていきます。

## YMCA News

山手センター 岡田ナスカさん

◇YMCAが青少年を育成する世界的な組織だということ内外にアピールする国際イベント、「YMCAワールド・チャレンジ2015」が今年もYMCAの誕生日前後一週間に開催され、東京YMCAは6月5日と8日、ユースや利用者を対象としたイベントを企画・実施して世界に連なった。両日で200名以上の参加があり、YMCAの存在意義を改めて多くの人にアピールする機会となった。

◇6月11日、東京YMCA医療福祉専門学校が開校20周年を祝して、パレスホテル立川を会場に記念式典を開催。国立市長をはじめ、実習先や就職先の施設関係者、高校の進路指導の先生方など約110名の来席があり、多くの方から良き人材を送り出してきたことへの感謝と今後への期待のメッセージが寄せられた。

◇6月22~27日、第18回となる会員芸術祭が東陽町センターで開催された。開催に先駆けて20日に行われたオープニングセレモニーでは、菅谷功氏(新槐樹社準委員)による講評と、奥平哲也氏によるマリimba演奏が会場を彩った。会員やそのご家族、関係者など64名(団体含む)による85点の作品が展覧された。会期中は約260名が来場、今回も水彩画、油絵、書道、写真、陶芸、彫刻など、多彩で個性的な作品がそろった。

◇今後の主な行事日程

- ・夏まつり 8月29日 (東陽町センター)
- ・第19回アジア・太平洋YMCA大会  
9月6-11日 (韓国・テジョン)
- ・第28回ユースボランティア・リーダーズフォーラム  
9月11-13日 (山中湖センター)
- ・第29回インターナショナル・チャリティーラン  
9月23日 (都立木場公園)

## 出船入船

キャビネット

年度末の6月30日付を以ってお二人のメンバーが休会されます。期間は2018年6月30日までの3年間の予定です。

深田恭司さん(チャーターメンバー)、業務多忙のため。

水戸朱美さん(2014年7月入会)、業務多忙のため。

参遊会の会員としてクラブの行事には可能な限り参加されます。